

昭和大学大学院の理念

昭和大学大学院は、医学研究科、歯学研究科、薬学研究科、保健医療学研究科を擁する医系総合大学院であり、先端的研究を進め、高度な医療を担う人材を育成し、生命科学の進歩と文化の発展に貢献するために設立された。

社会がめまぐるしく変化する中で、医療の高度化や価値観の多様化に伴い、人類の健康・福祉の維持向上のために、より深く包括的な生命真理の探究が求められている。

本大学院は医系総合大学院の特長を活かし、疾病の解明と克服を目的とした先端かつ独創的な研究を推進し、知の創造に向けて邁進する。さらに、優れた研究・教育・指導能力、高度の専門性、倫理観、温かな人間性を身につけ、高い知性と豊かな感性をもって未知の分野に挑戦する医療人を育成する。このような研究や教育を通じて、国際的視野に立つ、社会に開かれた大学院として、人類の幸福に寄与することを使命とする。

医学研究科カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 生命科学の基盤の上に、医学分野に関する深い洞察力及び専門的知識の習得に加えて、課題探求能力を備えた研究者並びに高度な知識と技術を有する専門職業人養成のための教育を行う。
2. 医学研究科には生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻の5つの専攻を設置し、大学院生はいずれかの専攻分野に属して研究を行う。
3. 医学研究科の教育は、講義、演習、実習および学位論文の作成等に対する指導により行う。
4. 医学研究を実施していく上での基本的な知識と技術を身につけるために、6つの共通科目(必修)を開講する。
5. 本学他研究科の共通科目を受講することができ、単位として認める。
6. 共通科目は医学部以外の学部出身者が基本的な知識と技術を身につけるためのものでもあり、本学他研究科の大学院生も受講することが出来る。
7. 医学研究科教授会が認めた国内外の大学、研究所等で研究を行うことが可能であり、単位として認める。
8. 単位認定されている学内研究会・セミナーに出席した場合は、関連共通科目の履修時間として認める。
9. 幅広い視野を確立し成果を発信する能力を養うために国内外の学会・研究会等に参加できる。

医学研究科ディプロマポリシー（学位授与の方針）

医学に関する学術理論並びに応用を教授研究し、その奥義を究めて、文化の進展に寄与できる人材を輩出するために、以下の目標を達成した者に博士(医学)の学位を授与する。

1. 独創的な研究によって従来の学術水準に新しい知見を加えた者
2. 専攻分野に関し、研究を指導する能力を有する者
3. 生涯にわたり研鑽をし、社会との架け橋となる自覚を有する者
4. 研究者として強い責任感と高い倫理観をもち、医学・生命科学の発展に寄与できる者